

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 入門ゼミⅠ ナンバリング：1001		単位数：1単位 （半期）演習	担当教員名： 高橋努、加藤房江、 三友玲子、花島慶子 担当形態：クラス分け
授業の到達目標及びテーマ 1. 建学の精神「気品」「知性」「奉仕」の理解し、具体的な行動指針を意識して学習と生活に活かすことができる。 2. 自己の目標を設定することができる。 3. 学習の基礎・基本、そして大学での学び方を知り、実践できる。			
授業の概要 本学における2年間の生活と学びの基礎として、建学の精神の理解や学修の基礎と基本を学ぶ。			
授業計画 第1回：オリエンテーション 第2回：大学での学び方 第3回：学校行事の企画と運営（スポーツ大会の準備） 第4回：自分を知る① どんな自分になりたいか 第5回：自分を知る② 大学生活をデザインする 第6回：学びの技術を知る① 大学の講義のスタイル 第7回：学びの技術を知る② レポートの書き方 第8回：教養としての日本文化① 第9回：教養としての日本文化② 第10回：社会人としてのマナー① 第11回：社会人としてのマナー② 第12回：学外研修 「ホスピタリティを学ぶ」 第13回：教育者・保育者として、環境について考える① 第14回：教育者・保育者として、環境について考える② 第15回：課題と発展学習の発見 定期試験：レポート		授業時間外の学習 企画・立案・練習（1時間） ワークシートの記入（1時間） ワークシートの記入（1時間） 調べ学習課題（1時間） レポート作成（2時間） 振り返りシートの記入（1時間） 振り返りシートの記入（1時間） ワークシートの記入（1時間） ワークシートの記入（1時間） 事前学習と事後活動（1時間） ワークシートの記入（1時間） ワークシートの記入（1時間） ※毎回「実習に必要な漢字テスト」勉強を行う。	
授業の方法 講義とディスカッション、発表。発表や提出物に対し、それぞれの気づきを共有できるよう教員がコメントする。			
テキスト 特に指定しない。適宜プリント等を配布する。			
参考書・参考資料等 課題に関する資料をプリント等で配布する。			
学生に対する評価 課題・提出物（50%）、発表内容・授業参加態度（50%）などを総合的に評価する。			
履修上の注意 社会人としてのマナーを身につけるため、毎回の授業はスーツで参加すること。 授業内で実習に必要な漢字テストを行うのでしっかりと予習をすること。 国語辞典（電子辞書可）を必ず携帯すること。 真摯な態度で授業に臨むこと。			
実務経験の有無	無	実務経験	
実務経験を活かした教育内容			

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 入門ゼミⅡ ナンバリング：1002		単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名： 高橋努、加藤房江、 三友玲子、花島慶子 担当形態：クラス分け
授業の到達目標及びテーマ 1. 本学での学習、生活を一層充実させるために、自己の目標に向けた学び方を習得し、実践できる。 2. 将来、本学の出身者として「気品」「知性」「奉仕」の精神をしっかりと身につけた一人の社会人として活躍することができるよう、生涯にわたる《自分磨き》の方法を学び、実践できる。 3. 問題意識を高め、情報収集力と発信力を身につけることができる。			
授業の概要 自己の目標に向けた学び方を習得するとともに実践に移せるようにする。また、本学の建学の精神を理解し実体のある行動として表現できるようにする。			
授業計画 第1回：学校行事の企画と運営①（純真祭の準備） 第2回：学校行事の企画と運営②（純真祭の準備） 第3回：自分について考える① 自分について話を聞く 第4回：自分について考える② 自分の強みを理解する 第5回：社会人基礎力を身につける① 第6回：社会人基礎力を身につける② 第7回：コミュニケーションの図り方 第8回：キャリアデザインとは 第9回：将来設計図を作成する 第10回：保育・教育の環境設定① 第11回：保育・教育の環境設定② 第12回：「読める・書ける・話せる」ために① 第13回：「読める・書ける・話せる」ために② 第14回：「読める・書ける・話せる」ために③ 第15回：まとめ 定期試験：レポート		授業時間外の学習 企画・立案・準備（1時間） 企画・立案・準備（1時間） 調査と課題追求（1時間） 調査と課題追求（1時間） ワークシート記入（1時間） 実践とワークシート記入（1時間） 実践とワークシート記入（1時間） ワークシート記入（1時間） ワークシート記入（1時間） 事前調査と体験（1時間） 事前調査と体験（1時間） 課題の準備と復習（1時間） 課題の準備と復習（1時間） 課題の準備と復習（1時間） レポート作成 ※毎回行なわれる小テスト勉強	
授業の方法 講義とディスカッション、発表。発表や提出物に対し、それぞれの気づきを共有できるよう教員がコメントする。			
テキスト 特に指定しない。適宜プリント等を配布する。			
参考書・参考資料等 課題に関する資料をプリント等で配布する。			
学生に対する評価 課題・提出物(50%)、発表内容・授業参加態度(50%)などを総合的に評価する。			
履修上の注意 社会人としてのマナーを身につけるため、基本的にスーツで参加すること。 毎回、小テストと課題を出すので、予習と復習をすること。 国語辞典(電子辞書可)を必ず携帯すること。 何よりも真摯な態度で授業に臨むこと。			
実務経験の有無	無	実務経験	
実務経験を活かした教育内容			